中國新聞
8月6日(水)
発行所
広島市中区土橋町7番1号
〒730-8677
中国新聞社
電話(082)236-2111(受付案内台)
郵便振替口座 01370-0-57
ホームページ
http://www.chugoku-np.co.jp/

鎮魂 胸に刻む朝

ヒロシマきょう「原爆の日」

被爆から58年たつ。追悼と継承を誓う人の列が原爆慰霊碑に続く

力の支配に警鐘

広島は鎮魂の朝を迎えた。一発の原爆がこの街を焼いた「あの日」から五十八年。広島市は六日午前八時から中区の平和記念公園で、原爆死没者慰霊式・平和祈念式（平和記念式典）を営む。二十三万人余の死没者を追悼し、核兵器廃絶を誓う。

秋葉忠利市長と遺族代表二人が、この一年間に新たに亡くなったり、死亡が判明したりした五千五十人の原爆死没者名簿を原爆慰霊碑に納める。名簿はこれで二十三万千九百二十人となる。遺族や被爆者らに続き、小泉純一郎首相、倉田寛之参院議長、坂口力厚生労働相らが献花する。

【3・27—29面に関連記事】

原爆投下時刻の八時十五分、遺族代表の藤原綾子さん(三一)とこども代表の河内小六年米屋孝彦君(一二)が「平和の鐘」をつき、参列者全員が一分間黙とうする。

秋葉市長は平和宣言で、イラク戦争など「力の支配」が憂慮される世界情勢に警鐘を鳴らし、「法の支配」や「和解」の重要性を訴える。

続いて、こども代表の南観音小六年藤井博之君(一一)と段原小六年片岡瑞希さん(一一)が「平和への誓い」。小泉首相と藤田雄山広島県知事があいさつする。

「ひろしま平和の歌」のコーラスを響かせて四十五分間の式典を締めくくる。

首相が広島到着

小泉純一郎首相は五日夜、広島市内で六日午前開かれる原爆死没者慰霊・平和祈念式に出席するため、新幹線で広島に到着した。歴代首相が参加してきた「被爆者代表から要望を聞く会」は昨年に続き欠席する。

小泉首相は、式典に参列後、新幹線で広島を離れる。

児童虐待 民事で認定

賠償7875万円命令 刑事は不起訴

広島地裁

児童虐待を受けて重い脳障害を負ったとして、広島市東区の元飲食店店長(三八)の長男(五つ)が、二〇〇〇年当時、預けられていた安芸区の飲食店経営の男性(三六)と妻(三五)に七千八百七十五万円の損害賠償を求めた訴訟の判決が五日、広島地裁であった。山垣清正裁判長は虐待を認め、全額を支払うように命じた。

当時、夫婦は傷害などの疑いで書類送検され、容疑を否認。広島地検は〇一年、嫌疑不十分で不起訴処分にした。父親の申し立てを受けた広島検察審査会も不起訴相当を議決。刑事で立件を見送られた容疑が、民事訴訟で認定される異例の展開となった。

訴状などによると、男性は店長だった〇〇年二月、長男の育児のため退職を申し出たところ、経営者夫婦は「子どもを預かるので仕事を続けて」と慰留。元店長は長男を経営者宅に預け、別居して仕事を続けた。

ところが二カ月後の四月十一日、長男は経営者宅でけいれんを起こして病院に運ばれ、脳こうそくを発症。後遺症で寝たきりになった。

長男が病院に運ばれた際、頭や手足に複数の傷やあざがあったため〇〇年十一月、父親が傷害罪で刑事告訴し、民事訴訟も起こし争っていた。

山垣裁判長は医師の証言などを基に、頭や足に強度の衝撃を多数受けて脳障害が起きたと認定。長男が倒れる前、二週間も保育園を休園していたことから「昼夜を通じて夫婦の支配下にある中で暴行が加えられた」との判断を示した。

父親は「これだけ障害を負ったのに、責任があやふやになるのが悔しかった。子どもを預けた後悔は消えないけれど、判決はうれしい」。被告の弁護人は「直接的な証拠がないのに原告の訴えを認め、信じられない。控訴を前提に内容を検討したい」と話している。

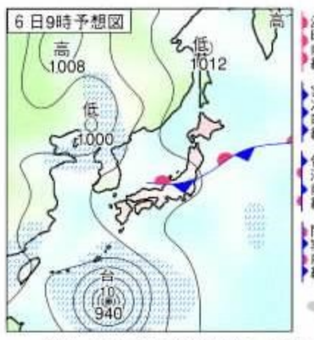
きょうの天気

【概況】太平洋高気圧の勢力は弱まり、北陸から東北南部付近に前線が停滞する。前線に向かって、南から暖かく湿った空気が流れ込み、大気の状態は不安定。中国地方は昼ごろまでは晴れ間が見られるが、午後には次第に雲が増え、一時雨や雷雨となる所も。

列車の予約は 通話無料 JR
0088-24-5489

	6時～	12時～	18時～
広島	10	10	30
三次	20	0	20
福山	20	20	10
岩国	0	10	40
周南	0	20	30
山口	10	20	30

岡山 曇時々晴
島根 晴
鳥取 曇時々晴
愛媛 晴時々曇
東京 曇
大阪 晴
福岡 晴後曇
札幌 晴
仙台 曇
鹿児島 晴
沖縄 晴後雨



	6日(水)	7日(木)	8日(金)	9日(土)	10日(日)	11日(月)	12日(火)
広島	30	10	70	20	30	30	30
山口	30	30	70	20	30	30	30
岡山	20	10	60	20	30	30	30
島根	20	20	70	20	30	30	30
鳥取	20	10	70	20	30	30	30

インドネシア 爆弾テロ13人死亡

ジャカルタの米国系ホテル 150人負傷 外国人も

【ジャカルタ5日共同＝八谷敏弘】インドネシアの首都ジャカルタ中心部の米国系高級ホテル、JWマリオット・ホテル・ジャカルタ（三十三階建て）前で五日午後零時半（日本時間同午後一時半）ごろ、車が爆発し、インドネシア赤十字などによると、オランダ人一人を含む十三人が死亡、約百五十人が負傷した。

【4面に関連記事】

「バリ島爆弾テロと類似している」と述べ、爆発した車内から人体の一部が見つかったことなどから自爆テロとの見方を示した。ハムザ・ハス副大統領は「米国の権益を狙ったとみられる」と語った。

昨年十月に二百人以上が死亡したバリ島テロ後では、同国で最悪のテロ。バリ島テロを起こしたとされ、国際テロ組織アルカイダとの関係が指摘されるイスラム地下組織ジェマ・イスラミア（JI）の関与が、今後の捜査の焦点になりそうだ。

赤十字によると、外国人ではシンガポール人三人、米国人とオーストラリア人それぞれ二人が負傷。ジャカルタの日本大使館によると、日本人が負傷したとの情報はない。

七日にはバリ島テロの実行犯に最初の判決が言い渡される予定で、死刑判決が予想される。こうした動きに対するイスラム急進派の反発がテロの背景との見方が強い。

ホテルは外国人の利用が多く、事件当時、滞在客のほか日本人も含め多数の外国人が昼食を取っていた。一階のロビーやコーヒーショップはほぼ全壊状態で、ホテル前の車寄せには大きな穴が開いた。ホテル内のアパートや、隣接のオフィスビルも損傷を受けた。

複数の目撃者によると、爆発は二回起きた。

ホテル内のアパートには日本の総領事など日本人も住んでいる。

田中前外相を不起訴へ

秘書給与 勤務あったと判断

東京地検

田中真紀子氏

公設秘書給与の不正受給疑惑をめぐり昨年、衆院議員を辞職した田中真紀子前外相(五九)に対する詐欺容疑の告発について、東京地検特捜部は五日までに、不起訴処分とする方針を固めたもようだ。細部の捜査を進め今秋、刑事処分を最終決定する。【3面に関連記事】

告発では国から秘書給与計五百八十九万円をだまし取ったとされたが、「名義借り」で約千八百八十万円を詐取したとして警視庁に逮捕された前衆院議員辻元清美容疑者(四三)のケースとは異なり、秘書に勤務実態があったと判断。「詐欺罪に問うのは極めて困難」との結論に達した。

特捜部は既に、田中前外相の元秘書らから事情聴取するなどしている。辻元容疑者については拘置期限の八日に起訴する方針。詐欺容疑で告発していたのは奈良市の政治団体代表。

告発状では、田中前外相の公設第一秘書はファミリー企業「越後交通」（新潟県長岡市）からの出向者で給与は同社が負担、前外相は秘書に渡すつもりもないのに一九九七年一月—十二月に、国から秘書給与計五百八十九万円を受け取り詐取した、としていた。捜査の結果①公設第一秘書には秘書としての勤務実態があった②出向扱いにしたのは、社会保険が継続できることなどから秘書本人が希望したため③国からの給与は会社が現金で保管し年度末に精算、秘書には国の給与とほぼ同額が渡っていた—などが判明。秘書としての勤務実態があれば、国から給与の支給を受ける権利があり、詐欺に問うのは困難と判断した。

越後交通などが国の支給分に少額の上乗せをして秘書に渡すケースもあったが、田中前外相は関与しておらず、上乗せ分を寄付と認定して政治資金規正法違反に問うのも困難という。秘書給与の不正受給疑惑は昨年四月、一部週刊誌の報道で表面化。田中前外相は衆院政治倫理審査会で釈明したが、八月に「疑惑が払しょくされず、身を処する」として議員辞職した。

広島原爆の惨状 克明に

全壊全焼の境界線再現

本社、原医研の協力得て画像化

一九四五年八月六日の原爆投下による広島市の被災状況について、中国新聞社は、広島大原爆放射線医科学研究所、早川式彦教授（疫学）の研究室の協力を得て、被爆五日後の空撮写真に鮮明に広がる爆心地から半径二キロ前後に及んだ全壊全焼の境界線を、現在の広島デルタの光景に重ね合わせ、再現した。【10面に特集】

「あの日」、推計で市民ら約三十二万人の57%が居住、四万五千百余件の建物が全壊全焼したとされる半径二キロ以内の被災状況は、これまで縮尺も正確でない手書きのイラスト図しかなかった。

同研究室が昨年に市の原爆資料館と米国立公文書館から入手し、米軍が「八月十一日」に高度約七千三百八十メートルから撮った写真のうち十枚を、竹崎嘉彦助手（地理学）が地理情報システム（GIS）のソフトを利用して、デジタル画像化。瀬戸内に面するデルタの街が雲に遮られていなかった今年六月十三日、中国新聞社が市南部斜めから撮った空撮写真をGISで国土地理院の地図データと照合して補正し、重ねた。

被爆五日後の状況を、今のデルタに重ね合わせるに当たっては、縮尺一万二千三百分の一の米軍写真を倒壊を免れた家並みが判読できる千分の一までデジタル画像上で引き伸ばし、被爆地と米国側の各種文献も参照。原爆で焼失した境界を可能な限り正確に再現した。

きょうの紙面

最期をたぐり弟供養 24面
知事「会食高過ぎた」 25面
わいど地方版 20—25面

火難折り鶴台仮復旧 25面

折り鶴が燃やされた広島市の「原爆の子の像」で、鶴を置く台が仮復旧し、9基のうち7基に市民が自由につり下げられるようになった。

広島、中日振り切る 19面
東大副学長カラ出張 27面
正田元広島県議逮捕 29面
4面 解剖 アメリカ帝国

購読・試読お申し込みは
0120-492-506

◆東京市場（5日）

円相場（午後5時）	対ドル	120.50－120.53円	(0.72円安)
	対ユーロ	137.04－137.08円	(1.54円安)
株式（終値）	日経平均	9382.58円	(70.21円安)
	TOPIX	925.47	(9.05ポイント安)

天風録

今年もめぐり来た「八月六日」。ヒロシマは静かな祈りに包まれる。福山市のミニコミ誌編集長、原馨さん(四〇)が三男を出産したのは十一年前のこの日だった。長男を生後間もなく病気で亡くしただけに、小さな命がいとおしくてたまらなかった。しかも「原爆の日」の誕生である▲安心して子育てできるのも戦争のない平和な世の中であればこそ、と考える原さん。「子どもたちにはたくさんの幸運をもらって生かされていることを忘れないでほしい」。誕生日は、親子でヒロシマの出来事について話し合う▲「原爆投下からちょうど五年後に生まれました」と話してくれたのは呉市の藤間裕二さん(五三)。十歳の時、親の転勤で関東から広島へ越して来た。「それからです、平和を意識するようになったのは」▲学校で教わったヒロシマの歴史。うれしいはずの誕生日がなぜか複雑な気持ちの日に変わった。「広島に移ったのも何かの縁。だから八時十五分には、職場の仲間に呼び掛けて黙とうします」▲山口勇子さん原作の平和アニメ短編「おこりじぞう」は、主人公の少女の誕生日に原爆が落とされるというストーリーである。物悲しく、何度見ても胸が締め付けられる。原爆は多くの人々の夢や希望を一瞬にして奪い去った▲全国に数多くいる八月六日生まれの人たち。鎮魂のきょう、平和を願うために命を授かった「もう一つの誕生日」に自らの誕生日をどう重ね合わせるのだろう。

えっ 新聞にクーポン!?
クーポン掲載は9面です。
企画・制作 （株）富士広告社広島支社
TEL(082)263-3381 FAX(082)262-3340

24時間FAXサービス 03-5972-6300 本の注文書がFAXで引き出せます。
Welcome to 講談社 http://www.kodansha.co.jp/ データは毎日新しくなります。
講談社 〒112-8001 東京都文京区音羽2-12-21
※定価には消費税が別に加算されます。

戦争の怖さ、風化させない。平和はつくりだすもの

50年間眠っていた"幻の作文集"今、ここに甦る
ピカドン
だれも知らなかった子どもたちの原爆体験記
八月六日八時ごろ、お母さんが、朝の食事のしたくをしておられた。私はとなりにいって、「あそびましょ。」といったと思ったら、「ピカ」と光った。六年 竹本節子（当時六歳）
ある日の夜「けんちゃん、けんちゃん。」ということえに目をさましました。おじいさんが「お母さんがしんじゃったんじゃよ。」といわれた時、僕はこのとき急に不幸になったような気がした。六年 西岡憲治（当時六歳）
▶広島県広島市立己斐小学校で約50年ぶりに発見された「原爆の思い出」本書の原本。
昭和26年、広島市立己斐小学校5、6年生だった子どもたちが、被爆当時の惨状を生生しく綴った15編の貴重な記録。
定価：本体1,000円 4-06-211987-0

敗戦からの数年間、占領軍は広島長崎の被爆の実相を隠し続けました。被爆についての発言や出版が困難な時代です。子どもたちが、どういう経緯で作文を書いたのか、さだかにわかりませんが、きわめてまれなケースだったのではないでしょうか。
私たちは、いま一度、この手記を書いた子どもの心に立ち戻らなくてはならないのではないでしょうか。もう一度子どもにかえって、現在を見つめなおす必要があると思うのです。それも、今すぐに。
児童文学作家 那須正幹（なすまさもと）

野坂昭如戦争童話集 沖縄篇
ウミガメと少年 野坂昭如／作 黒田征太郎／絵 「戦後なんて、この地球上に一度もおとずれてない」世代をつなぐ忘れてはイケナイ物語 1,800円
「ネルソンさん、あなたは人を殺しましたか？」 ベトナム掃討兵が語る「ほんとうの戦争」 アレン・ネルソン／著 戦争後遺症から立ち直った著者が、ゲームや映画とは違う戦争の現実を訴えます。 1,300円
炎の秘密 ヘニング・マンケル／作 オスターグレン時子／訳 地雷を踏み両足を失っても前向きに、はつらつと生きる十二歳の少女を描くノンフィクション。 1,500円
くろいちょうちょ 地雷で足をなくした男の子の話 シルビア・フルンシェー／作 辻田希世子／訳 もしあなたが地雷を踏んでしまったら……。「地雷」を知らない子たちに読んでほしい本。 1,600円
あの日のことをかきました ニューヨークとアフガニスタン 絵でつたえる子どもたちの心 エクトル・シエラ 「現代アーティストたち」代表 テロと報復攻撃にあった街で、子どもたちは何を感じていたのだろう。 1,500円
ぼくはあの戦争を忘れない 第二次世界大戦下のフランスの世相を、少年の目を通して描く自伝的ノンフィクション絵本。 ジャンルイ・ベッソン／文・絵 加藤恭子・平野加代子／訳 2,500円
私たちはいま、イラクにいます 爆撃で殺されるのは、私のような子どもなのです 増刷出来！ シャーロット・アルデブロン／文 森住卓／写真 いまも混乱が続いているイラクで、子どもたちの人生は始まったばかりです。 1,200円